

心臓血管放射線研究会学術研究助成
学会報告記

氏名 相川 忠夫

所属機関名 (発表時) 北海道大学大学院医学院循環病態内科学

発表学会名 ASCI 2017 (口演発表)

学会開催年月日 2017年6月1日～3日

演題名 Diagnostic value of delayed contrast-enhanced computed tomography in patients with known or suspected cardiac sarcoidosis

優秀論文賞受賞 有 (Best Young Presenter Award Finalist)

学会報告記 (800字程度・写真1枚)

◇本文

2017年6月1日～3日にウェスティン都ホテル京都で開催された ASCI 2017 (The 11th Congress of Asian Society of Cardiovascular Imaging) に参加させて頂きましたので、ご報告致します。本学会は2009年に東京で開催されてから2度目のものではCT、MRIなどを用いた心血管画像イメージングに関する最新のテクノロジーや研究成果が多数発表され、国内外の著名な先生方による招待講演も大変勉強になりました。

私は今回、「心サルコイドーシスを対象とした遅延造影CTの診断的価値」というテーマで発表させて頂きました。本演題はBest Young Presenter Awardセッション内での発表でしたが、いずれの演題も興味深く、発表者の質疑応答からも多くのことを学ぶことができました。本学会で得られた知見を今後の研究活動に役立て、また次の学会でも良い研究発表が出来ればと思います。

学会の合間に祇園を散策したり、鴨川沿いの川床で指導医の先生方と食事を楽しんだりなど、初夏の京都も十分に満喫することができましたが、祇園を歩いている海外旅行者のあまりの多さには圧倒されました。最後になりますが、本学会への参加にあたり学術研究助成を賜りました日本心臓血管放射線研究会の皆様にも心より厚く御礼申し上げます。

(写真)私の指導医である真鍋先生は症例クイズの高得点者とポスター賞でダブル受賞されました。

